





聖書	使徒16:1-15
タイトル	聖なるナビゲーション（ピリピにて）
教案日付	2015年 5月31日

項目	イラスト	お話し
I	a 	パウロは、ユダヤ人だけでなく異邦人にも神様のことを伝えたいと願っていました。
	b 	パウロは、神様のことを人々に伝えるために仲間たちと第二回目の伝道旅行に出かけました。
	c	
II	a 	パウロは、アジアでイエス様のことを伝えようと考えていました。ところが、聖霊はパウロに「アジアでみことばを語ってはいけない」と、言われました。理由はわかりませんでしたが、聖霊の導きに従うことにしました。
	b 	次に、パウロたちがビテニヤの方に行こうとした時、聖霊はまた「そちらの方向ではない」と言われたのでした。

項目	イラスト	お話し
II c		<p>ある夜、パウロは幻をみました。それは、一人のマケドニヤ人がパウロの前に立って、「どうかマケドニヤに渡ってきて、私たちに助けてください」と、熱心にお願している幻でした。パウロは、これは神様の導きに違いないと思い、すぐにマケドニヤに向かいました。</p>
III a		<p>パウロは、マケドニヤの地方都市ピリピへ行き、川岸で集まってくる女たちにイエス様のお話をしました。</p>
III b		<p>パウロはそこで紫布商人のルデヤという女の人に会いました。</p>
III c		<p>そして、ルデヤもその家族もパウロの話を聞いて神様を信じ、バプテスマを受けて救われました。神様が聖霊によってマケドニヤにパウロを導いたのは、まさにこのためだったのです。</p>
結論 (適用)		<p>聖霊は、パウロが行くべき道を教えてくださいました。聖霊の導きに従った時に、パウロはルデヤとその家族に出会うことができたのです。あなたはいつも聖霊の導きに従っていますか？聖霊は聖書のみことばを土台として、祈りの中や人からのアドバイス、環境などを通してあなたを正しい方向へ導いてくださるお方です。祈りとみことばの中で聖霊の声に耳を傾けましょう。</p>

使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること